

地域課題の 把握・共有・解決 のための仕組みづくり

身近な圏域の取り組み ～地域包括支援センターの実践～

金沢市地域包括支援センター
とびうめ
センター長 中 恵美

金沢市 (R4. 4. 1)
人口446, 446人 (中核市)
高齢化率27. 3% 世帯数211, 685
地域包括支援センター19ヶ所
ランチ2ヶ所
地区社協54ヶ所 (概ね小学校区)

金沢市地域包括支援センターとびうめ

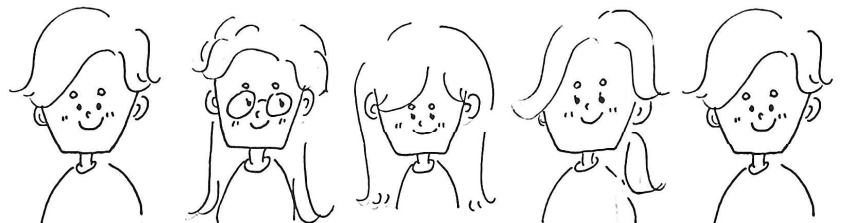
担当エリアは概ね小学校区2つ分
人口11, 475人 6, 307世帯



小立野地区
人口7, 579人 (65歳以上 : 2, 160人)
高齢化率28. 4% 世帯数4, 037
新竪地区
人口4, 132人 (65歳以上 : 1, 483人)
高齢化率35. 9% 世帯数2, 270

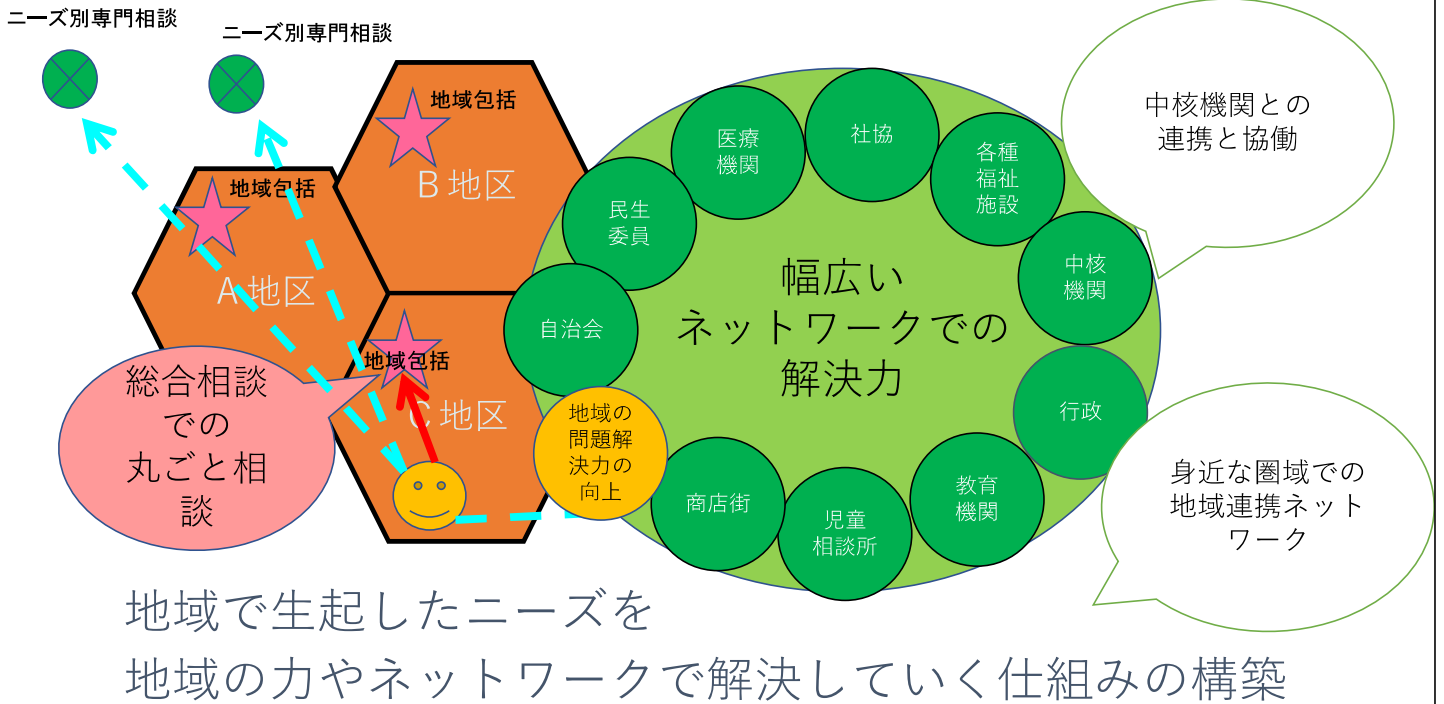


金沢市内地図
とびうめ包括は
19か所ある
日常生活圏域の
一つを担当
(まちなかの
小さなエリア)



センター職員数5名+事務職員1名
資格内訳 (保健師 2・看護師 2 社会福祉士 3 精神保健福祉士 1 公認心理師 1
認知症地域支援推進員 4 主任介護支援専門員 2 介護支援専門員 4)

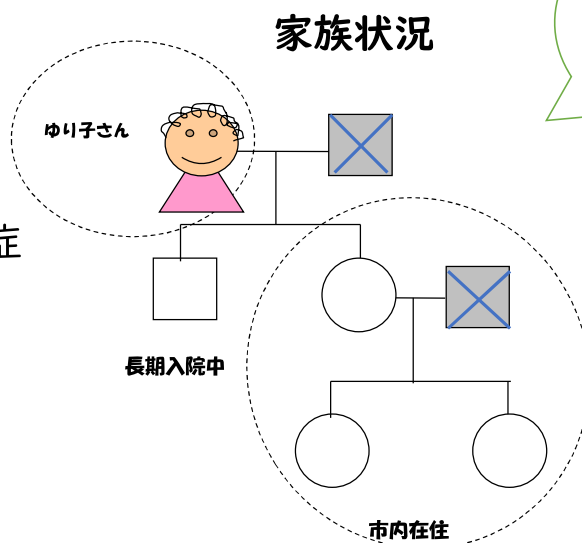
地域包括支援センターの総合相談体制



事例の基本情報

ゆり子さん

- ・80歳代 女性
- ・要介護度:要介護Ⅰ
- ・診断名:
アルツハイマー型認知症
- ・社交的で友達が多い
- ・趣味:旅行 民謡
高齢者大学
- ・2週間に1回 パーマ屋
- ・掃除好き



ちょっと事例で
みてみましょう
ゆり子さんの
登場です

場面Ⅰ：地域で生じたニーズがつながる仕組み



地域連携ネットワークは、どこからはじまるのかな

- ゆり子さんとは地域サロンで知り合うが、多趣味で健康にも気にかける素敵な歳の重ね方をしているという印象
- ゆりさんにもものわすれが出現し、なじみの人間関係から見ると見える生活への支障がみえてきた
- 同じような時期に、相談という明確なかたちではなく地域包括に届けられた気になる発言



- (1) 気になる情報が専門機関に届く仕組み
- (2) ニーズの集まる拠点を探し、出向っていく

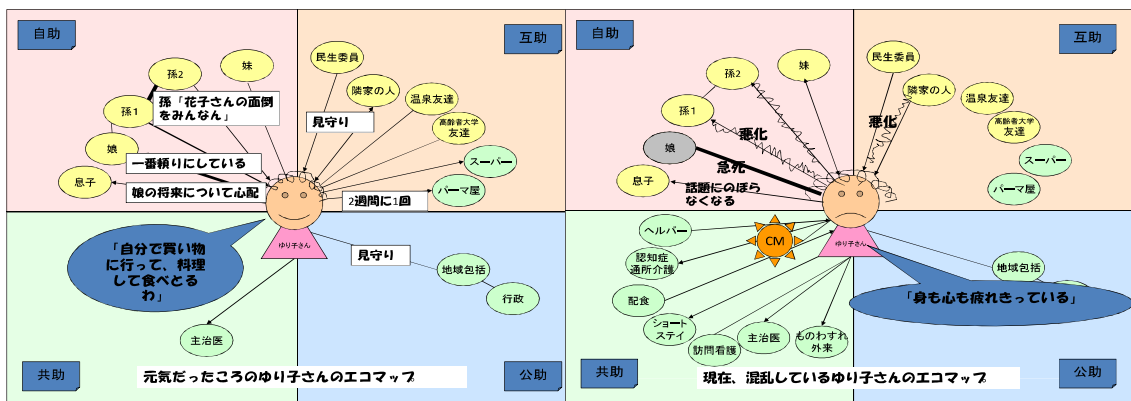
専門相談窓口で待っていても相談はやってこない
地域ニーズが集まる拠点を探し、出向っていくことが必要

「地域連携論～医療・看護・介護・福祉の協働と包括的支援～」

「地域連携論～医療・看護・介護・福祉の協働と包括的支援～」

個別課題解決機能をもつ地域ケア会議でつくる多角的アセスメント

各々の情報や討議内容をホワイトボードで可視化していくことで、地域連携ネットワークを深めていく工夫



元気だった頃と、今のゆり子さん。こうやって比較してみると、ずいぶん人間関係も環境が変わっているよね。

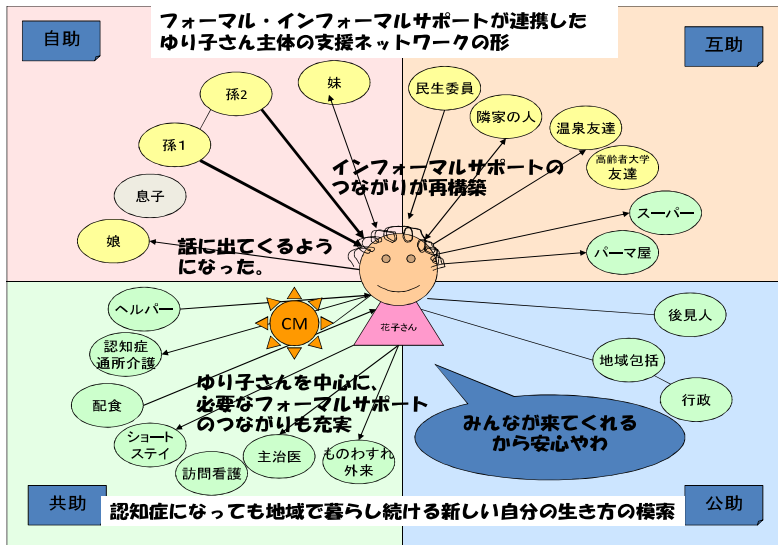
ゆりさんのこと、なんとか助けたい気持ちはあるけれど、通帳盗られたと言われたらたまらなくて・・・



主治医とはいい関係で先生の言うことを大事にしている。介護サービスも入って、生活はしっかりサポートできているね。

サービスは充実して、生活は安心なはずなのに、家族や友人と距離ができて、ゆり子さん、さみしいみたい。

**事例をとおすと、地域包括ケアにリアリティがでてくる。
目の前のゆり子さんを支えるために連携し、協働していく。**



その地域連携ネットワーク、事例で語れますか？（イメージがつながる？）

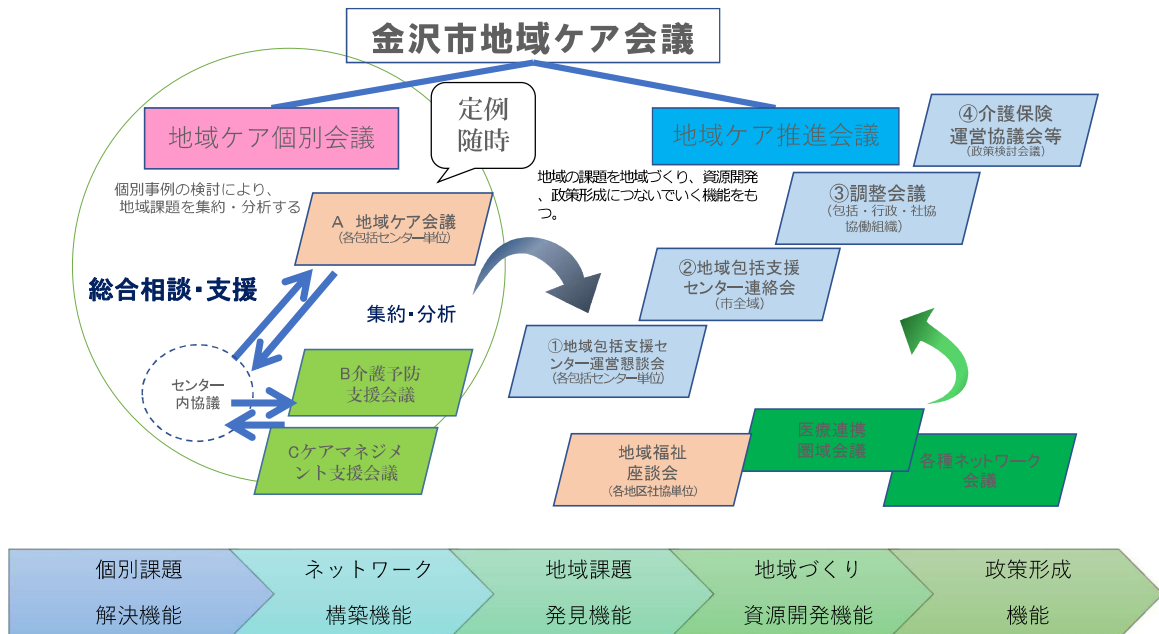


会議をすることが、目的ではなく手段ってよく言われるけど

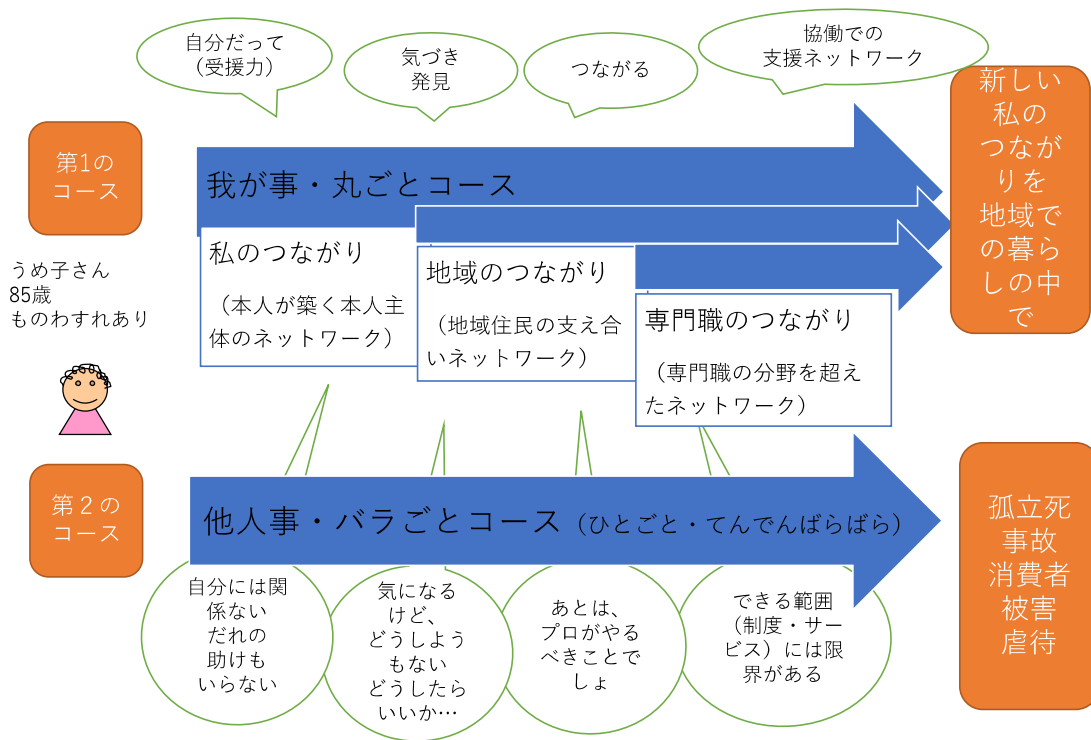
本人を主体とした一人ひとりのオーダーメイドなネットワークを構築していくことが共通の目標。そのために、必要となるのが「地域ケア会議（個別事例のある会議）」という手段。

金沢市における地域ケア会議の体系図

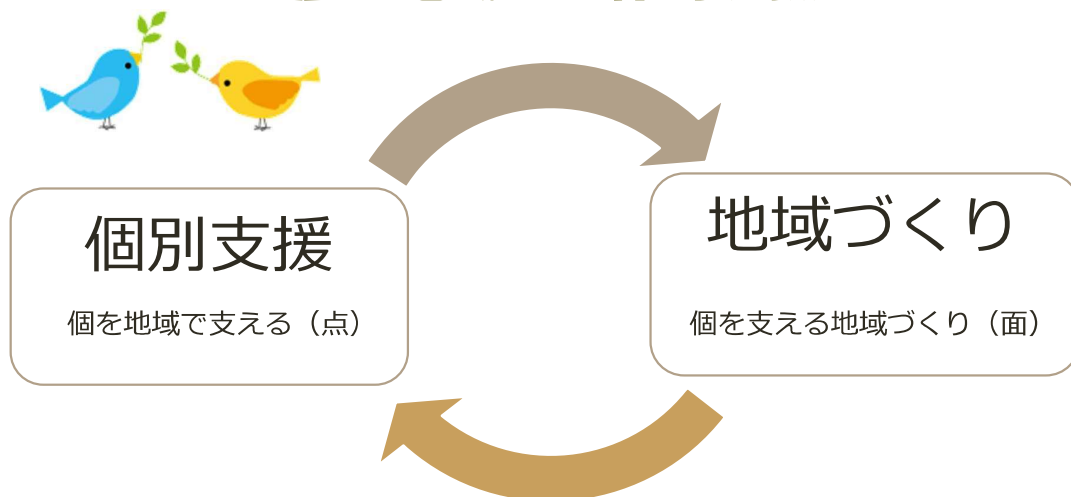
時代にあわせて、体系図を変化させていくことも検討。



地域での暮らしには二つのコースがある（現場の実感より）



個と地域の一体的支援



KW 地域を基盤としたソーシャルワーク オーダーメイドな地域包括ケア 置かれた場所からの地続きの地域共生社会の実現

地域課題共有場面①

- 地域のなかで、Aさんの行動が問題に
- 家族、地域、専門職で地域ケア会議
- 家では起きていない問題行動だった
- 家とデイでの様子しか知らなかったケアマネ
- 地域は本人の認知症を知らず110

→本人、家族、地域の思いを知り合う
 →それぞれにできることを考え合って行動する



みつめてねっと
 認知症見守り声かけ訓練
 小立野町会連合会&とびうめ

地域課題共有場面②

- 地域で起きた孤独死事例
- 地域ケア会議（定例）で振り返り
 →町連会長名で
 「あったかいおせっかい」推進の全戸回覧

→見える

→知る

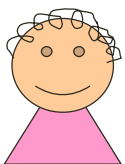
→関心をもつ

→かかわる

→うごく

→関係が変わる

→地域へ波及



ひとつの事例が
 地域を変える
 って、そんな
 ぐるぐる

校下の皆様へ 【閲覧願います】

小立野社会福祉協議会
 小立野町会連合会

“孤独死”を出さないために（お願い）

ここ数年、校下に於いて、一人住まいの方がお亡くなりになられ、周囲がその事に、数日間気付かずいたという痛ましい事態が発生しています。

これは先月起きた事ですが、新聞の集金の方が訪問した時、声をかけても返事がなく、配達された新聞がガラス戸に何日間分溜まっている。これはおかしいと気づき地域包括支援センター“とびうめ”に連絡。とびうめは地域担当の民生委員と一緒に訪問し、異常事態という事で、警察に連絡。その結果、死後数日の状態で発見されたものです。

この新聞社では、配達員や集金人は、特に高齢者の家庭、一人住まいの住居については、なにか異常と感知することがあれば、直ちに関係先に連絡、対応するという体制になっているそうです。また最近では、郵便局（配達人）の他、宅配便会社等でも、同様な行動体制をとっている会社もあります。

しかしながら、いざというとき頼れるのは、やはり近所の方です。当たり前であったご近所との往来が希薄となり、苦手、面倒といった声を聞きます。認知症サポーター養成講座でもお願いしましたが、『温かいお節介をする勇氣』を皆さんが少し意識して頂き、近所の方の状況を見つめ直し、一人ではどうしても分からない時は周りの方とも相談し、痛ましい事態が起こらないような心使いをお願いする次第です。

何かある、何かが起きているのでは？と思ったときは、
 地区民生委員に相談頂くか、
 金沢市地域包括支援センター“とびうめ”（夜間も対応します）
 へご連絡下さい。

金沢市地域包括支援センター“とびうめ”
 ☎ 076-231-3377です。

おうちでサロンチャレンジ (コロナ禍におけるオンラインを用いた健康づくり)

もしかめグーパー体操で認知症予防! 間違えても大丈夫! ダブルマスクが認知症予防になります!

うさぎとかめの歌に合わせて体を動かすことがダブルマスクになります!

「うさぎとかめ」
もしもし かめよ かめさんよ
せかいのうちに おまえほど
あゆみの のろい ものはない
どうして そんなに のろいか

- ① 左手はパーを作り胸に置く。右手はパーを作り前に出す。うさぎとかめの歌に合わせて左手と右手を交互に入れ替える。
- ② 左手はグーを作り胸に置く。右手はグーを作り前に出す。①と同じように歌に合わせて左手と右手を交互に入れ替える。
- ③ 左手はパーを作り前に出す。右手はグーを作り胸に置く。左手をグーに変えて胸の前へ、右手をパーに変えて前に出す。歌に合わせて交互に繰り返す。
- ④ 左手はグーを作り前に出す。右手はパーを胸に置く。左手をパーに変えて胸の前へ、右手をグーに変えて前に出す。交互に繰り返す。

上級編 ①～④の動きに足踏みも合わせて行ってみましょう!

通常版 (解凍済み) 上級編 (解凍済み)

QRコード →

動画も見てね!

動画協力: 金沢市社会福祉協議会



うさぎおいし かのやま

自宅でもできる運動を地域住民や関係機関とともに作成し、動画配信やチラシを用いて、周知した。地域住民の健康づくりやフレイル予防を目指している。

協力団体: 消防分団 民生委員児童委員協議会 よろず保健室 こうめボランティア東風の会

インフォーマル・フォーマル含めた多職種連携りんくるの会 みえてきた地域課題は地域の人と一緒に考えていく

地域の高齢者の生活を支えている人同士の連携を深めることで、地域包括ケアシステム構築の実現に一步踏み出すことを目的とする

「りんくるの会」を立ち上げました。

地域では、すでに、さまざまなつながりの中で、高齢者を支える仕組みやネットワークが存在します。それらが繋がらうことで、さらに強靱なネットワークを作ることができます。

ちなみに・・・「りんくる」wrinkleとは、英語で「しわ」や「年輪」を表します。そこに高齢者がもつ社会や地域と、また、多くの援助職同士もつながることができるよう「つながるlink」という意味を込めました



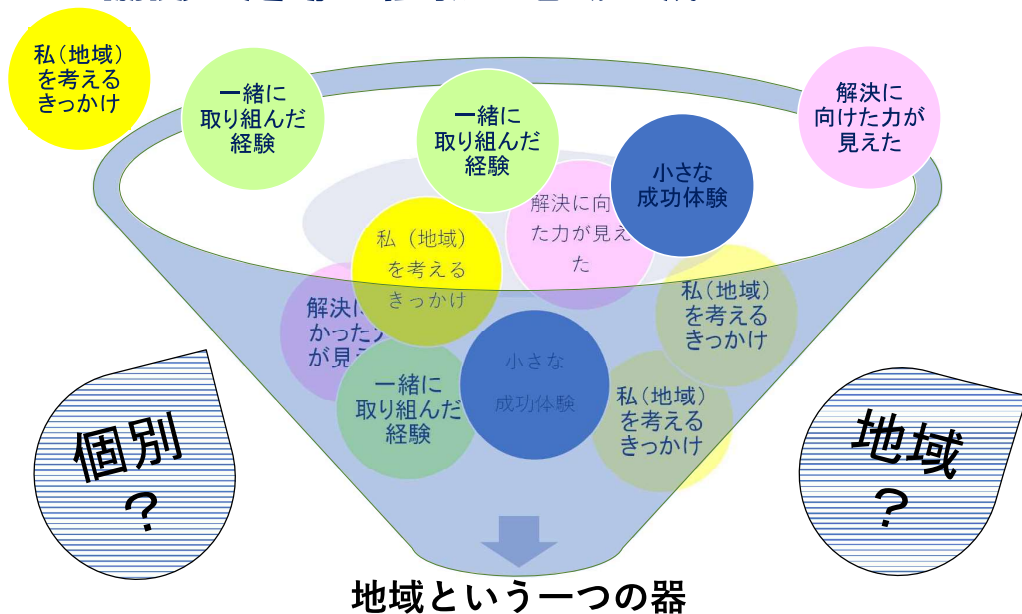
参加者: 民生委員児童委員・地区社会福祉協議会・町会連合会・婦人会・ケアマネジャー・医師・歯科医師・薬剤師 医療機関ソーシャルワーカー(MSW・PSW)・障がい相談機関・行政・市社協SC・地域包括支援センター 介護サービス事業所(デイサービス・ヘルパー・訪問看護・グループホーム・特別養護老人ホームなど)



私らは、なんか困ったことがあったら、すぐとびうめさんに言ってるけど、とびうめさんには、こんな頼もしいネットワークがあったんやって、今日はじめて知りました。

閉会のあいさつ
民協の会長から

その地域から専門職はいなくなっても 協働の足跡や経験は地域に残る





置かれた場所からの
地続きでの

地域課題の把握・共有・解決
にむけた仕組みづくりを目指
していきましょう

